

II 改訂版の主なポイント

①見直しの視点

芸術創造・文化情報発信機能の強化、多様な鑑賞機会及び文化芸術活動場所の提供、効果的な施設運営、利用者サービスの向上等を図ります。

②見直しの内容

県美術館を除いた、県芸術劇場等の施設について、指定管理者制度の導入を検討します。

指定管理者の導入にあたっては、これまで、愛知芸術文化センターを拠点として事業の中枢を担ってきた(公財)愛知県文化振興事業団に、新たにプロデューサー等を配置するなど、組織・体制の強化・再編を行った上で、指定を行うことを検討します。

3 「あいち地域文化創造戦略」の推進

本県には、全国に誇れる優れた民俗芸能や工芸品などの伝統文化やあいちトリエンナーレなどの現代アート、個性豊かな歴史文化や食文化など、多様で魅力的な文化が多数存在しており、これらの地域文化を保存・継承するとともに国内外に向けて発信することにより、愛知の存在感と魅力を一層高めていく必要があることから、その具体化手法である「あいち地域文化創造戦略」(平成24年3月策定)を積極的に推進します。

あいち地域文化創造戦略

基本戦略Ⅰ

個性的文化の発掘

- 地域で継承されてきた伝統文化などの個性的文化への関心を高め、自らの地域を見直す中で、地域独特の魅力ある個性的文化を発見し、その価値を再評価する。

重点的に取り組む内容

- 県内の埋もれている個性的文化を発掘する。
- 県内の個性的文化の魅力を再発見する。
- 県内の個性的文化への理解と関心を深める。
- 県内の魅力ある個性的文化を広く紹介する。

基本戦略Ⅱ

個性的文化の育成

- 地域独特の個性的文化は、地域の財産となることを認識し、次世代に向けた保存・継承を行うとともに、磨きをかけ、その魅力を向上させる。

重点的に取り組む内容

- 個性的文化の魅力に磨きをかけ地域ブランド化する。
- 個性的文化を活用し売り出す仕組みづくりを行う。
- 文化に愛着を持ち、大切にすることを醸成する。
- 伝統文化の保存・継承の取組を支援する。
- 文化を守り育てる人を育成、支援する。

基本戦略Ⅲ

個性的文化の発信

- 地域独特の個性的文化やその活用により引き出された地域の魅力を幅広く情報発信するとともに、他地域との積極的な交流を通じて地域を活性化させる。

重点的に取り組む内容

- より多くの方に愛知の文化を知ってもらう。
- より多くの方に愛知の文化を見てもらう。
- 地域の文化を観光資源として活用し、情報発信します。
- あらゆる媒体を活用し、愛知の文化を発信する。
- 伝統文化の発表を支援する。